

## Phone Doctor Plus (27 項目のハードウェアテストで徹底診断。端末購入・テストの定番アプリ。不良品の購入を防ぐ。システム最適化、CPU、メモリ、電池及びデータ使用量を観測。)

それなりのお値段で購入した iPhone が初期不良だと困りますよね。ですので、iPhone を購入する際のチェックはとても大切です。最初は気付かず、使っていくうちに不具合が出てきたというネット上のクチコミも少なくありません。その場合に初期不良だと認定されることが難しく、修理対応になるでしょう。まもなく保証期間が終わりそうですか？保証期間内であなたの iPhone には目に見えない不具合がないかチェックしてみましょう。

iPhone には数多くのセンサーが内蔵されていて、徹底的にテストするのに、どうすればいいのでしょうか？

携帯ショップの窓口で、診断ツールアプリ数個インストールし、30 分かけてじっくりテストしますか？（次に待っている人がいれば気まずいですね。）どこからテストすればいいかわからないという方もいるかもしれません。

「新しいスマホを買ったけど、古い iPhone はまだ使える。2 台持ちあるいは人に譲る？ どうすれば古い iPhone の実行をもっとスムーズにできるの？」

まずは以下の説明動画をご覧ください。

上述のお悩みを全て「PhoneDoctor+」アプリにお任せください。「PhoneDoctor+」は僅か 8 分でタッチパネル、サウンド、内蔵パーツ、センサー、無線機能（ワイヤレス機能）等 27 項目のハードウェアを一気に診断し、もう初期不良品なんて買わせません。

それだけではありません。このアプリは電池とメモリの最適化もできて、iPhone の実行をよりスムーズにします。

App Store 内唯一 iPhone の診断と最適化を兼ね備えたアプリ。まさに一石多鳥ですね。

早速このパワフルなアプリをご覧くださいませ。

システムアプリに対する一般的なイメージと違って、「PhoneDoctor+」はテスト項目をゲーム化し、レイアウトをより明るくしました。

「PhoneDoctor+」は：「システム一覧」、「ハードウェアテスト」、「バッテリー」、「使用量」メインの 4 つのカテゴリからなります。

## モニタリングと最適化

よりスムーズに実行させる



## ハードウェア診断

徹底診断で不良品の購入を防ぐ





まず「システム一覧」の中では、ハードウェア、バッテリー、メモリ、CPU、ストレージの状況が一目瞭然です。一目で状態を確認できるように全てのブロックの右上に「イラストアイコン」を配置し、システム状態は良好か改善の余地ありかを示します。特定の項目にタップすると、詳細が出ます。更に iPhone を最適化するコツも教えちゃいます。例え初心者でも、説明通りにすれば簡単に最適化ができます。とても実用的で使いやすいデザインになっています。

画面の最下部にはインターネット接続状況を表示しています。モバイルデータ通信かWiFiかに接続しているのを表示するだけでなく、モバイルデータ通信もしくはWiFiに繋がっているのに、Safari でページが開かない時に、モバイルデータ通信基地局やWiFi アクセスポイントに問題がないかを「PhoneDoctor+」でチェックできます。

ネットワークの接続状況をチェックすると同時に「PhoneDoctor+」はデータ通信量のモニタリングもできます。海外旅行中や、使用量制限がある場合にデータ通信量をちゃんと把握し、高額のパケット代が発生することを防げます。





次に、「ハードウェアテスト」（下2図参照）には25項目のハードウェアテストで計27のハードウェアを診断できます。内蔵センサー、内蔵装置、無線機能、外装チェックポイント等、4つのグループに分け、iPhoneを何から何まで徹底的にチェックします。



その中では「PhoneDoctor+」の独自技術（R.O.C. 特許取得、U.S.A. 特許出願中）でしかできないテスト項目もあります。例えば、スピーカーとマイク・イヤホンとマイクテスト、と Bluetooth 接続テスト、ネットワークチップテスト、CPU テストなどです。

スピーカーとマイク・イヤホンとマイクテストにおいて「PhoneDoctor+」はフィードバックシステムと高速フーリエ変換で、300Hz の低周波数から 12000Hz の超高周波数までテストできます。それは録音したり、音楽をプレイしたりするような普通のテストでは絶対にできません。

Bluetooth テストについて、「PhoneDoctor+」は Bluetooth 機能が正常に起動できるかをチェックすると同時に、他の端末とペアリングできるかもテストします。

ネットワークチップについて、「PhoneDoctor+」はチップの実行状況をモニタリングするだけでなく、ネット接続時のエラーパケットも検出し、システムの安定性を測定します。

CPU について、「PhoneDoctor+」はベンチマークテストで CPU パフォーマンスを測定します。

他にもテスト項目が多数存在しますが、こちらは一部の例となります。

内蔵スピーカーとマイクをテストします。

1. イヤホンを挿している場合は抜いてください。
2. ボリュームを最大に上げてください。
3. 雑音はテスト結果に影響を及ぼす恐れがあります。

\*アプリのマイクへのアクセスを許可してください。

|   |               |
|---|---------------|
| ✓ | 低周波音 300Hz    |
| ✓ | 中周波音 2000Hz   |
| 🌀 | 高周波音 8000Hz   |
|   | 超高周波音 12000Hz |

50%

これから「Bluetooth」の起動及びペアリングテストを行います。ペアリングの状況を検知するために、もう一人「PhoneDoctor+」の使用者と一緒に本テストを行う必要があります。P.S.ペアリングテストを行う際に、2台のiPhoneともこちらの画面になっていることを確認してください。デバイスを検索するのに少々時間がかかりますので、お待ちください。検出したら、1台のみ相手デバイスを選択してください。

|   |                       |
|---|-----------------------|
| ✓ | Bluetooth起動テスト        |
| 🌀 | Bluetoothデバイス検索テスト    |
|   | Bluetoothデバイスペアリングテスト |

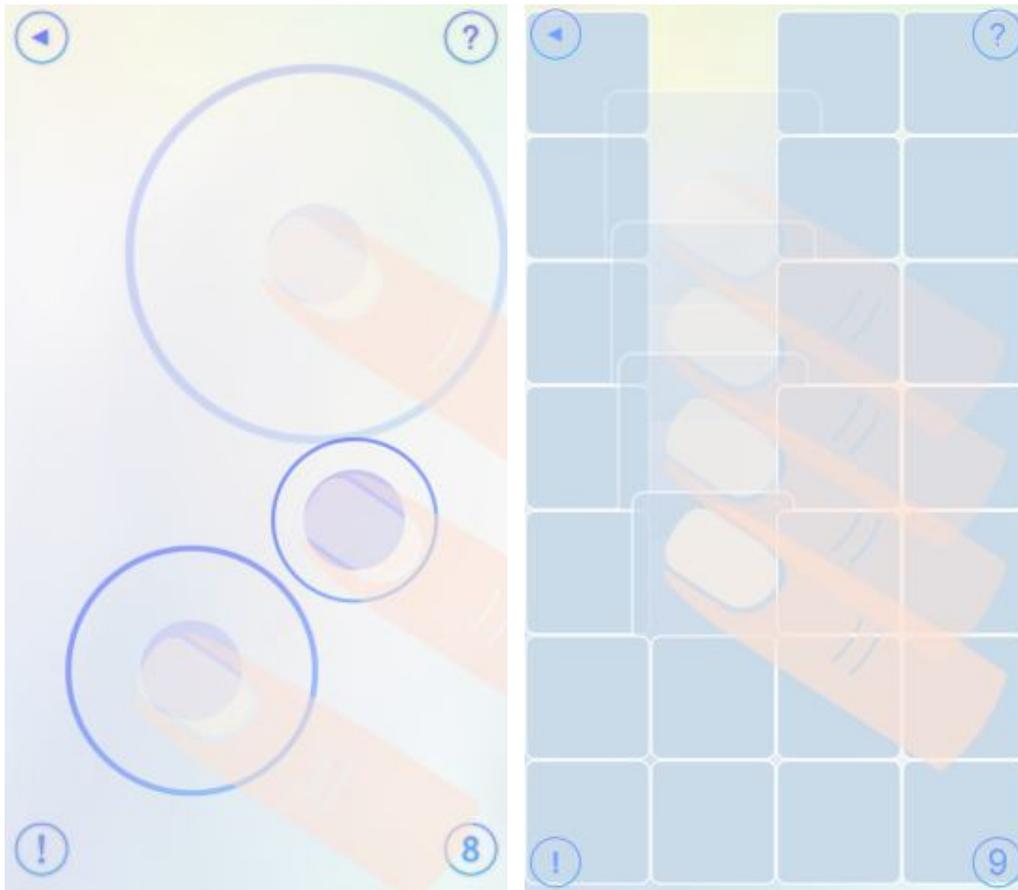
33%



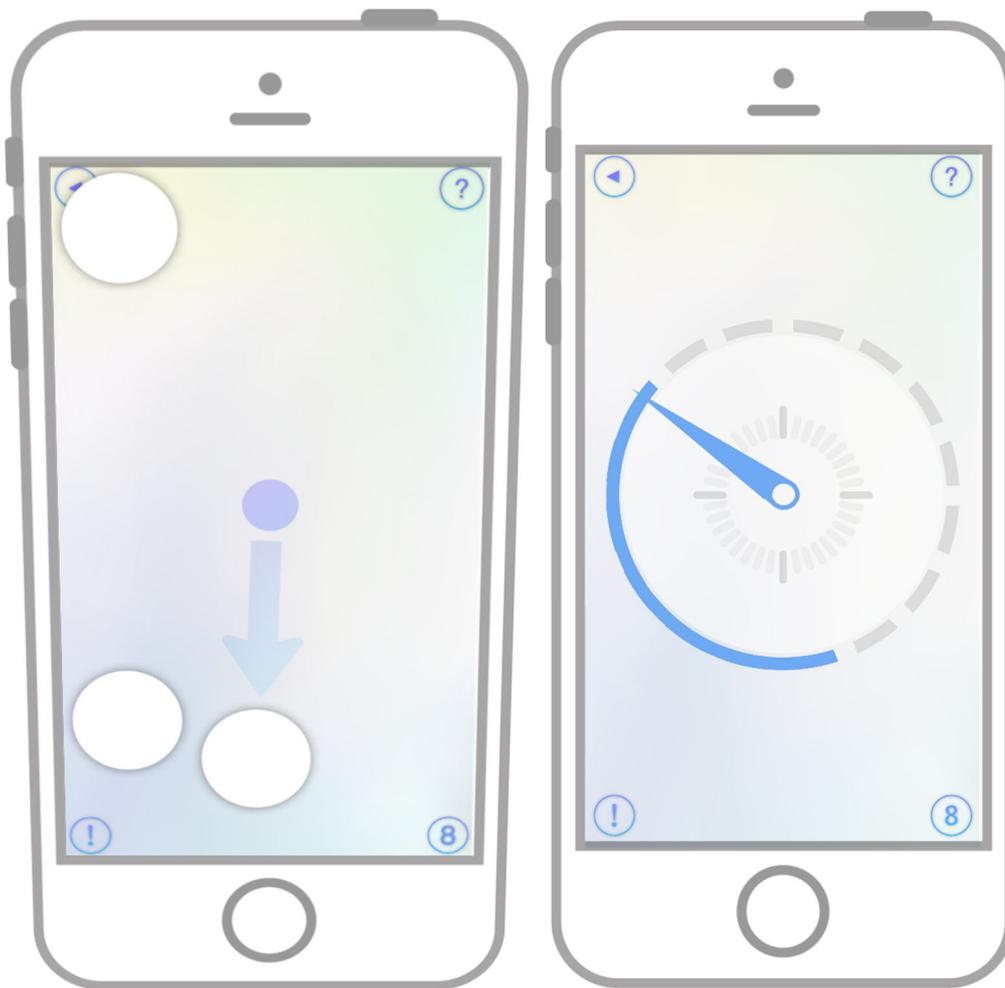
左下の図はマルチタッチテストを行っている様子です。（ご覧のとおり、ゲームをするだけでテストができちゃいます。）3本の指を同時に円にタップし、円が消えたら合格です。ゲーム形式でテストを行うのって斬新ですね。

右下の図はタッチパネル感度有効エリアテストを行っている様子です。指でスワイプして、四角を全部消したら合格（＝感度不良のエリアがない）です。

右上の？をタップすると、解説が出てきます。



次の2つの図も同様にテストを行っている様子です。左の方は方向センサーテスト、右の方は電子コンパステストを行っている様子です。それらのセンサーに不具合があれば、ボールを白い円に入れることができなくなったり、点線に沿って実線の円を描くことができなくなったりします。普通のシステムアプリと全然違いますよね。



バッテリーのページで、残りの駆動時間及び、フル充電までの所要時間が確認できます。さらに、アプリ内のコツ通りにすれば、バッテリー寿命を延ばすことやバッテリーの劣化を遅くすることもできます。これらの機能だけで、独立したバッテリー最適化アプリとして成り立ちます。

それだけでは終わりません。普通の電池（バッテリー）アプリは利用者自ら電池の劣化状況を判断しなければならないのに対し、「PhoneDoctor+」は利用者の使用状況により、電池寿命の予測ができます。このアプリを使えば使うほど、予測が正確になります。



バッテリーアイコンをタップすると、各項目の稼働可能時間が確認できます。右上の電球アイコンをタップし、エンジニアが用意した12個のバッテリー 寿命を延ばすコツで、バッテリーのメンテナンス方法を学びましょう。「PhoneDoctor+」はまた電池最適化をできる優れたものです。



使用状況ページでは、メモリ・CPU及びデータ通信量の状況を確認できます。メモリのブロックをタップすると、実行中のプログラム一覧が出ます。

更に、データ使用量においては特定の月やデータタイプの確認ができ、履歴も分かりやすく一目瞭然です。毎日の使用上限アラートを設定することによって、パケット通信料金が高額になることを避けましょう。



以上の紹介をご覧になり、「PhoneDoctor+」は多機能のアプリであることをお分かりいただけましたか。不良品の購入を防ぐだけでなく、普段 iPhone の使用に当たってシステムの最適化及び端末の作動状況の把握にも役立ちます。

この APP Store 内唯一同時に iPhone の診断と最適化ができるアプリ「PhoneDoctor+」は、本当にインストールしなきゃ損です！

ご意見・プロモコードのお申込みはこちら [service\[at\]dribunny.com](mailto:service@dribunny.com) までご連絡ください。